Kushiro Shinkin

釧路信用金庫DX戦略2026年版
（計画期間2027.4.1～2030.3.31）

釧路信用金庫

DXを進める背景・目的

Kushiro Shinkin

お客様

・ニーズの多様化や複雑化
・働き方の多様化や共働き世帯の増加に加えて、コロナ禍による行動変容で、非対面取引が定着、ニーズ拡大
・人財不足の深刻化

競合

・FinTechやネットバンクの台頭
・地域金融機関における非対面サービスの拡充

当金庫

・生産性向上の必要性
・人財不足

社会変容
環境変化への対応

経営理念である「この地域（まち）を愛し豊かな未来（あす）を創造します。」に基づく、基本方針「質の高い金融サービスの提供に努め地域社会の繁栄に貢献します。」を達成するためには、デジタル化・DXの取組みが必要不可欠な状況となっています。

■DX方針

Kushiro Shinkin

釧路信用金庫は、「この地域（まち）を愛し豊かな未来（あす）を創造します。」という経営理念の下、急速なデジタル技術の発展によるお客様の生活やビジネスモデルの大きな変革に対応し、より質の高いサービスのご提供と課題解決支援を目指すため、以下のとおり取組んでまいります 。

1．デジタルサービスを通じたお客様の利便性向上

2．業務効率化・ペーパーレス化などの生産性向上

3．環境変化に対応できるDX人財の育成

令和６年10月

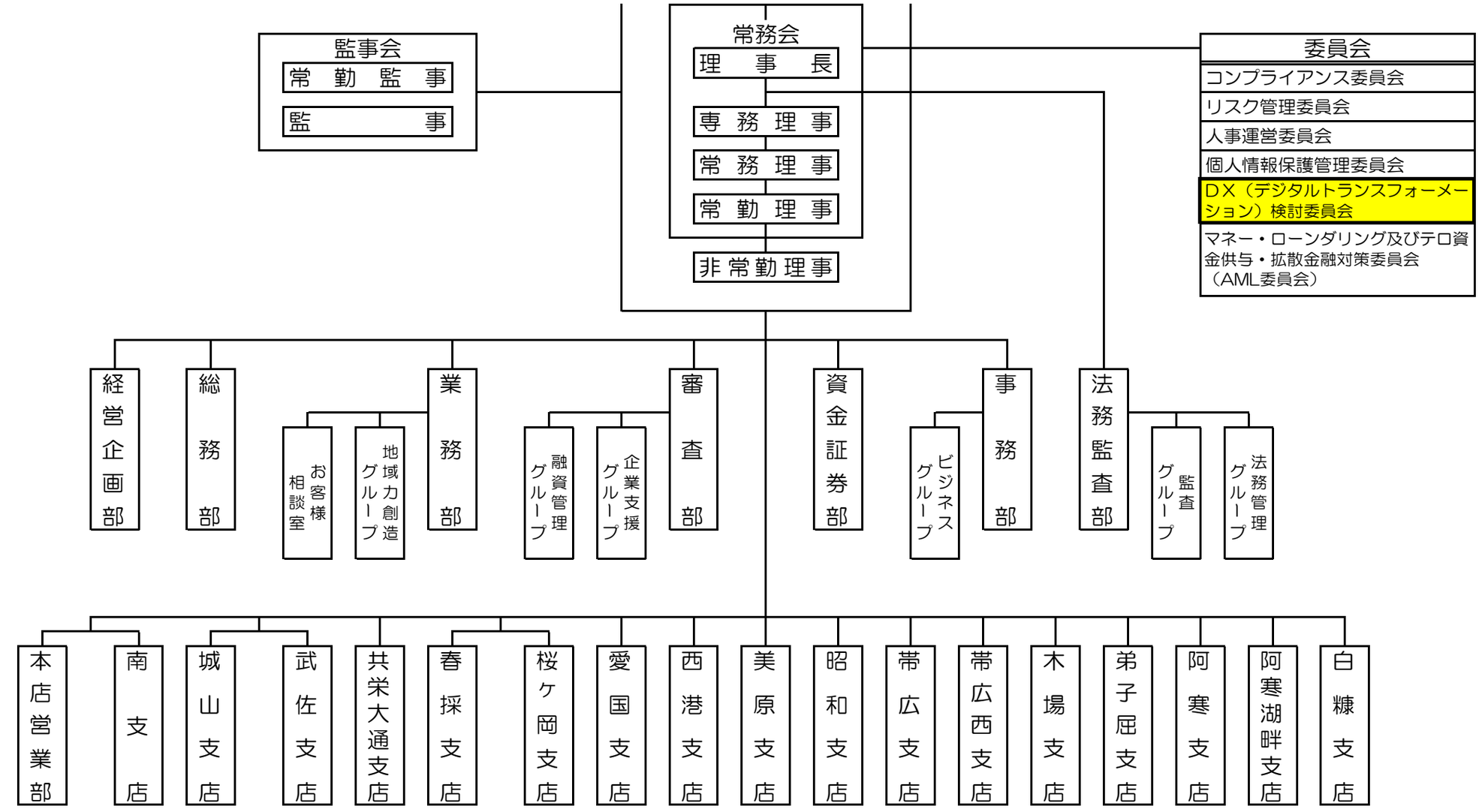
釧 路 信 用 金 庫

理事長 森村 好幸

■DX推進体制

Kushiro Shinkin

当金庫のDX方針に沿った重点戦略を実施するため、組織横断的な取組みが必要なことから、常務会の直下にDX検討委員会を組織しており、今後は各種戦略の立案・実行・評価・改善をより精緻に行ってまいります。



■重点戦略について

Kushiro Shinkin

重点戦略1
顧客利便性の向上

【アクションプラン】
■非対面サービスの拡充
■非対面チャネルの強化

重点戦略2
生産性向上

【アクションプラン】
■デジタル技術を活用した業務効率化
■ペーパーレス化・電子化の推進

重点戦略3
人財育成

【アクションプラン】
■DX人財育成に向けた取り組み

得られたデータを活用し、質の高い金融サービス提供を目指し、新たなサービスや商品の企画・開発や戦略の改善に努めます。

主な取組み施策について

Kushiro Shinkin

重点戦略	アクションプラン	主な施策
顧客利便性の向上	➢ 非対面サービスの拡充	➢ お客様相談室の機能拡充・推進 ➢ WEB完結型ローンの拡充・推進 ➢ しんきん通帳アプリの推進
	➢ 非対面チャネルの強化	➢ HPの利用状況分析と改善 ➢ 公式インスタグラムの利用拡大
生産性向上	➢ デジタル技術を活用した業務効率化	➢ 営業店窓口支援システムの利用拡大 ➢ 生成AIの活用 ➢ 営業活動支援システムの導入
	➢ ペーパーレス・電子化の推進	➢ マルチドキュメントスキャナーの積極的な活用
		➢ ワークフロー、アップスイート、エルガナの積極的な活用
人財育成	➢ DX人財の育成	➢ DX関連資格の取得推奨
		➢ セミナー、研修等への積極的な参加、注目される生成AIの研究

■KPIについて

Kushiro Shinkin

➢ KPIとは

■目標達成に向けたプロセスの進捗状況を定量評価・分析するための具体的な指標。

重点戦略	主な施策	KPI（令和9年度～11年度）
顧客利便性の向上	➢お客様相談室の機能拡充・推進	➢ お客様相談室利用件数
	➢ WEB完結型ローンの拡充・推進	➢ WEB完結型ローン受付件数
	➢ しんきん通帳アプリの推進	➢ しんきん通帳アプリ導入件数
	➢ HPの利用状況分析と改善	➢ 半期に1回以上の改善
	➢ 公式インスタグラムの利用拡大	➢ フォロワー数
生産性向上	➢ 営業店窓口支援システムの利用拡大	➢ 諸届受付機能の導入
	➢ 生成AIの活用	➢ 本格導入（現在試行活用）
	➢ 営業活動支援システムの導入検討	➢ 導入検討（効果が高い場合全店導入）
	➢ マルチドキュメントスキャナーの積極的な活用	➢ 紙使用枚数
	➢ ワークフローの積極的な活用ワークフロー、アップスイート、エルガナの積極的な活用	
人財育成	➢ DX関連資格の取得推奨	➢セミナー、研修の受講回数
	➢ セミナー、研修等への積極的な参加、生成AIの研究	

※KPIは令和8年度と比較した目標

■サイバーセキュリティ・自己診断の実施

Kushiro Shinkin

■サイバーセキュリティ

- 「サイバーセキュリティ管理要領」、「サイバーインシデント対応マニュアル」、「サイバーセキュリティ取組方針」等の規程・要領を制定、CSIRT設立などの組織体制整備を進めるとともに、サイバーインシデント発生時の対応を整備しております。
- HPの脆弱性診断や業界団体主催のサイバー演習に定期的に参加する等、実効性向上に努めており、継続してまいります。

■自己診断

- 「DX推進指標」による自己診断を毎年実施し、ビジネス環境や取組みの達成度合いを継続的に評価することにより、KPIと合わせて進捗を管理することで、DXの実現を目指してまいります。